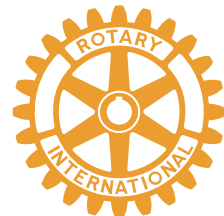


2019—2020年度 Vol. 11
ガバナー月信

5 月号

Rotary



Rotary International District 2570
GOVERNOR's MONTHLY LETTER
Vol.11 May 2020



青少年奉仕月間

リーダーの大切な役割の一つは、明日のリーダーを育てること。
地域社会やクラブの未来を担う才能豊かな若手を育てよう。

批判は簡単だが事態を前へ進めることは難しい

国際ロータリー 鈴木 秀憲 吹上
第2570地区ガバナー



3月11日にWHOがパンデミックと表明し、その1週間後に世界の新型コロナウイルス感染者は約20万人に達し、その1か月後の4月18日には、世界での感染者数は10倍の200万人を超えてしまった。END POLIO NOWのパートナーのWHOを批判する訳ではないが「パンデミック宣言は遅きに失した。」と云われている。止むを得ない事だろう。

翻って日本では4月7日に7都府県での緊急事態宣言を発した。10日後の17日に緊急事態宣言を全国対象とした。メディアは「全国向け緊急事態宣言」を遅きに失したと批判した。今のところ行動の自粛こそが唯一の感染防止なのだから、メディアも色々な諸策を批判するより、行動自粛をもっと強く視聴者に訴えるべきだ。かく言う私も、メディアを批判している。批判は簡単だが、物事を前へ進めることは夫々の立場で違いがあり難しい事だ。

奉仕活動を標榜しているロータリーは何をすべきか？

緊急事態宣言が遅かったと云われる理由の一つに、営業自粛を要請する場合には休業補償をしなければならないという考えがある。しかし財源に限りがあるという現実だ。

今、新型コロナに打ち勝つ事が出来なければ、明日はない 明日の社会はないと考えるべきだ。

その為に必要な事は、治療法が見つかっていない今は外出自粛が最も効果的だ。本来は自粛だから自分で制御すれば良いのだが、自制できない人達がいる。「自分が感染ルートになってしまう。」という自覚がない。

だから営業自粛になり、休業補償を求める声が出る。従って多くの資金が必要だ。但し、私は「営業自粛するから休業補償をしろ」と要求しているのではない。そのような声が多くなるだろうと、危惧しているのだ。

もう一つ必要なものが、医療現場で不足している物資(マスク、フェイスシールド、防護服)の調達だ。感染防止の為に医師を始め、国や県職員が必死に戦っている現場がある。この方々の身を守るためにも、これ等の物資調達が喫緊の課題だ。

ならば各団体が保有しているお金は今こそ拠出し有効活用すべきであり、奉仕活動を標榜しているロータリーとしては率先してこの行動をとるべきと考える。

この観点から、ロータリーとして、お金或は医療用物資を寄贈すべきと考える。一刻も猶予は出来ない。幸いにもフェイスシールドの入手先を見つける事が出来たので、これを地区として埼玉県へ寄贈し、当局から医療機関へ相応に配分して貰おうと考えた。この考えを同じ埼玉県の2770地区ガバナーへ投げかけ、賛意を得た。早速埼玉県当局と相談し、夫々が25,000セット、2地区併せて50,000セットを寄贈する事とした。間に合うかどうかは別として、ロータリー財団の災害救援補助金活用の申請をした。

私達は世間へ目を向ける(世間の為に役立つ)べきだ

前述したが、この緊急事態にお金が入る事は目に見えている。その一部に充当して貰おうと埼玉県と調整中だ。寄贈先を県と

したのは、日本全体(34地区合同)では地区の事情が夫々で、足並みが揃わない。寄贈先を市や町にすると、地区内の配分に難しさが有るからだ。財源は、中止した地区大会用の予算を充てたい。この考えに対して、この先予想される経済状況を考えると、ロータリアンの経済支援や地区運営に活用したら如何かというご意見もある。一般の会社や団体ではそのように考えるべきだろう。しかし私達は、奉仕を掲げている団体だ。ここは、先ず新型コロナウイルス感染防止を最優先させるべき、その為にロータリーは、世間へ目を向ける(世間の為に役立つ)べきだと考える。この考えも第2770地区ガバナーへ伝え協力を求めたところ、行動を共にしたいとの事であった。

異論がある事は充分に承知しているが、寄贈の件については曲げてご承知いただきたい。

4月17日に読売新聞へ全紙1頁を活用した「知事との対談」を掲載した(右頁)。

これは、本来地区大会に併せて発行しようとして計画していたもの。生憎地区大会は中止せざるを得なかったが、知事との対談は折角の機会なので、開催させて頂き掲載に至ったものです。

大野知事はライオンズクラブの2010-11年度地区ガバナーでした。東日本大震災で地区大会を中止された経験をお持ちで、話題は地区大会中止の件にも及んだ。地域と奉仕団体とのかかわりなどについても色々ご意見を頂き大変参考になりました。(P4に続く)

今月は青少年月間です

青少年奉仕の範囲は広いが、ここでは先ず、インターアクトクラブについて触れよう。インターアクトクラブでは12～18歳の青少年が、地元でのボランティア活動や、海外のインターアクト会員との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っている。そして少なくとも年に2回のプロジェクトを実施する。一つは国際感覚を促進するプロジェクト、もう一つは学校又は地元地域でのプロジェクトだ。本年度地区委員会では前者を年次大会の時

の鬼丸先生の講演で習得し、その後の討論会で発展させた。後者については、RYLA研究会で、SDGsを自分達の事としていかに進展させるかについて熱心にディスカッションしていた。彼らが更に発展させてくれる事を期待する。

本年度は所沢東RCのお世話で所沢高等学校インターアクトクラブが誕生した。所沢東RCの皆様にお礼申し上げますと共に、追隨するクラブが出来る事を願います。

月間の話題に相応しいかどうかは別にして、このコロナ騒動の中で、大変だったのは青少年交換だ。来日学生も派遣学生も先ずは安全に帰国させる事が喫緊の課題だ。当然のことながら、当方で出来ることは来日学生の帰国を進める事だ。委員の方々にご尽力頂いた。しかし派遣学生帰国の話が中々聞こえてこない。本人達にしてみれば、志半ばでの帰国は耐え難い(1年間が無駄になる?)。又、派遣先国の関係者も当初はのんびりしていた様に感じられた。

しかし、状況は刻々と悪化してくる。即帰国させることを委員の方々にお願いし、それぞれの立場でご活躍頂いた。特に高橋貴子委員(行田さくらRC)の派遣先関係者との遣り取り等のご活躍に深く感謝します。そして、危険な状況の中で派遣国から無事帰国した交換学生の沈着な行動に賛辞を送ります。平時には経験できない貴重な体験が、彼らの今後に大きくプラスになると信じています。



ロータリー希望の風奨学金

—— 私たちは忘れないあなたやあなたの家族のことを ——

ロータリー東日本大震災
青少年支援連絡協議会副委員長

矢島 淳一

本庄

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

顧問 **坂本元彦** 富士見

副委員長 **矢島淳一** 本庄

委員 **野口健吉** 栗山

委員 **西川和人** 志木

あの東日本大震災から9年が経過しました。厚生労働省の調べによると震災により両親を亡くした児童(震災孤児)は岩手、宮城、福島各県合計241人、ひとり親となった児童(震災遺児)は同各県合計1537名。この子供たちの教育支援として立ち上げた、主に大学在学中毎月5万円を無償で支給するロータリー希望の風奨学金制度も国内外のロータリアンの支援によりこれまではほぼ順調に推移しております。

当2570地区では毎年ガバナーのご理解

のもと100万円の地区予算計上や各クラブ例会、チャリティー記念イベント、コンサート、地元祭典での出展、インターシティミーティング、地区大会での募金活動。個人献金、法人献金など多岐にわたり当初の故西川武重郎パストガバナーの熱心な取り組みにより支援体制が引き継がれています。この場をお借りして日頃よりご協力頂いている各クラブ、会員の皆様には心よりお礼申し上げます。今後の運営につきましては1月の役員会議にて左記の通り約4億円の不足となり、厳



しい内容が予想されていますので引き続きご協力をお願い申し上げます。なお、毎年ロータリーの友9月号に詳しく報告が掲載されますのでご覧ください。

ご支援いただける方は、振込口座は下記の通りですのでよろしくお願いいたします。

振込口座
銀行名 千葉銀行 銚子支店(店番266)
口座名義 ロータリー東日本大震災
青少年支援連絡協議会
口座番号 普通預金口座 3549340

国際ロータリー 2570地区 2020～21年度派遣R財団奨学候補生 第3回オリエンテーション報告書



相原茂吉ガバナーエレクト



高橋野乃花さん

ロータリー財団委員会
奨学学友・平和フェロー小委員会委員長
福山 健朗



岩瀬風香さん



及川陽菜さん

2020年2月22日北坂戸オルモにて第3回オリエンテーションを開催致しました。

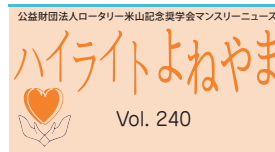
始めに陣野壮太郎委員が開会の言葉を行いました。引き続き鈴木秀憲ガバナー及び相原茂吉ガバナーエレクトより挨拶を賜りました。

茂木聡ロータリー財団委員長より趣旨説明がありました。続いてそれぞれの奨学候補生から、ロー

タリーとの係り、留学に向けて準備状況の報告及びテーマは自由で20分間のスピーチを行いました。

スピーチ終了後、各ロータリアンより講評を貰い、最後に鈴木秀憲ガバナーより講評を頂きました。

今回は学友の参加はなく、奨学候補生とロータリアンだけのオリエンテーションとなりました。候補生はよりロータリーの知識が増えたと思います。



プログラム開始から終了までの支援金必要額の予測

(2019.06.30の推計値)

期	期間	学生人数				期別	年間奨学金			支援金実績	累計	雑収入	経費年額	支援金残高
		予測	累計	実績	累計		予測	実績	実績累計					
プログラム開始時の資金⇒											429,623,551			
1	11/11~12/03	38	38	35	35	35	9,500,000	8,750,000	8,750,000	23,096,451	452,720,002	19,596	179,392	443,810,206
2	12/04~12/06	92	130	80	115	115	13,800,000	12,300,000	21,050,000	21,550,765	474,270,767	0	80,040	452,980,931
3	12/07~13/06	123	253	143	258	101	73,800,000	60,750,000	81,800,000	72,676,659	546,947,426	71,894	237,822	464,741,662
4	13/07~14/06	144	397	161	419	126	86,400,000	75,600,000	157,400,000	79,036,990	625,984,416	74,687	234,746	468,018,593
5	14/07~15/06	174	571	170	589	122	104,400,000	73,250,000	230,650,000	75,688,528	701,672,944	74,502	226,337	470,305,286
6	15/07~16/06	166	737	176	765	138	99,600,000	82,600,000	313,250,000	81,808,469	783,481,413	36,345	208,735	469,341,365
7	16/07~17/06	154	891	175	940	131	92,400,000	78,650,000	391,900,000	67,915,125	851,396,538	95,932	217,094	458,485,328
8	17/07~18/06	136	1027	176	1116	136	81,600,000	81,350,000	473,250,000	46,123,934	897,520,472	95,203	148,023	423,206,442
9	18/07~19/06	114	1141	185	1301	142	68,400,000	80,200,000	553,450,000	42,672,523	940,192,995	217,665	135,173	385,761,457
10	19/07~20/06	130	1271	130	1431		78,000,000		78,000,000	30,000,000				337,761,457
11	20/07~21/06	130	1401	130	1561		78,000,000		78,000,000	30,000,000				289,761,457
12	21/07~22/06	130	1531	130	1691		78,000,000		78,000,000	30,000,000				241,761,457
13	22/07~23/06	130	1661	130	1821		78,000,000		78,000,000	30,000,000				193,761,457
14	23/07~24/06	130	1791	130	1951		78,000,000		78,000,000	30,000,000				145,761,457
15	24/07~25/06	130	1921	130	2081		78,000,000		78,000,000	30,000,000				97,761,457
16	25/07~26/06	130	2051	130	2211		78,000,000		78,000,000	30,000,000				49,761,457
17	26/07~27/06	130	2181	130	2341		78,000,000		78,000,000	30,000,000				1,761,457
18	27/07~28/06	130	2311	130	2471		78,000,000		78,000,000	30,000,000				-46,238,543
19	28/07~29/06	130	2441	130	2601		78,000,000		78,000,000	30,000,000				-94,238,543
20	29/07~30/06	130	2571	130	2731		78,000,000		78,000,000	30,000,000				-142,238,543
21	30/07~31/06	130	2701	130	2861		78,000,000		78,000,000	30,000,000				-190,238,543
22	31/07~32/06	130	2831	130	2991		78,000,000		78,000,000	30,000,000				-238,238,543
23	32/07~33/03	130	2961	130	3121		58,500,000		58,500,000	30,000,000				-266,738,543
累計		2961	3121				1,702,400,000	553,450,000		900,569,444	1,330,192,995	685,824	1,667,362	-373,188,543

1期の期間は、2011.11~2012.03の5か月
2期の期間は、2012.04~2012.06の3か月
3期以降は、ロータリー年度に合せ、7月より翌年の6月までとなります

推定値に基づき今後必要な支援金
経費は月額2万円程ですので、必要支援金には算定していません

予測額と実績額との差額：76,450,000

国際ロータリー第2570地区 2020-2021年度地区チーム研修セミナー

ROTARY INTERNATIONAL



DISTRICT
2570
JAPAN



次年度地区役員、 会長エレクト研修セミナー

次年度地区幹事
坂口 孝

川越

コロナウイルスの感染が急速に拡大し、各種会合、イベントも軒並み中止となっている。ロータリークラブも地区大会、国際大会ともに中止、各クラブの例会も自粛の流れが

続いている。そんな感染拡大の前、2月21日に2570地区チーム研修セミナー、3月15日に会長エレクト研修セミナー (PETS) が開催されたので報告する。

2月21日の地区チーム研修セミナーでは、鈴木秀憲ガバナーの「変化を恐れない心で、新しい取り組みを見出してほしい」との激励挨拶の後、相原茂吉ガバナーエレクトより、次年度地区役員の紹介に続き、ホールガー・クナーク国際ロータリー会長エレクトのテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」、次年度第2570地区テーマ「Let's make fellows! ~友達をつくろう~」が発表され、これに基づく地区運営方針が、次年度地区役員候補者に伝達された。休憩後、松本祐二ポリオ根絶地域コーディネーターの「ポリオ根絶に向け

2月21日時点では、国内感染者は79名であり、水際で食い止めていると楽観視されていた時期だった。3月15日時点では国内感染者は712名と増加していたものの小康状態となっていた。しかしながら、この状況下でPETSを開催すべきか否かは、大変難しい判断だったことと思う。鈴木ガバナーと何度も行われた検討の上で「自分の言葉で直接伝えたい」という、相原ガバナーエレクトの熱意により開催は決断された。当日の会場設営は、午前中から次期幹事団が集合し、

松本祐二ポリオ根絶地域コーディネーター



会場の徹底したアルコール消毒の上、広く間隔をあけてテーブルを会場全体に配置した。会場は完全に開放し、6台の送風機で外気を導入すると同時に、会議中も大量の加湿器による次亜塩素酸水、アルコールの噴霧を行った。入場者には、手のアルコール消毒はもとより、マスクを全員に配布し飛沫感染の防止に努めた。また、全員検温を実施し、発熱がある場合には入場を断った。まさに、背水の陣でコロナウイルス感染防止策を講じていたのである。





「私たちにできる事」をテーマとした講演では、「根絶まであと僅かとなったポリオだが、完全に根絶しなければ、近い将来、元の蔓延に戻ってしまう。ロータリアンが情報発信者となってポリオ根絶に向けて活動することが重要」とポリオ根絶への強い意志が語られた。最後に9委員会委員長予定者より次年度への抱負が表明され、4時間に及ぶ研修セミナーは閉会した。次年度の地区役員候補者が、心ひとつにして地区運営に邁進するための、大変充実した研修セミナーだった。

3月15日の会長エレクト研修セミナー (PETS) は、大きく時間を短縮したことから、一部の研修のみとなった。鈴木ガバナー、坂本次年度地区研修リーダーの挨拶の後、相原ガバナーエレクトからRI会長方針、地区運営方針が就任の経緯とともに丁寧に説明された。その後に行われた加藤玄静地区研修委員長の「会長エレクトに望むこと」と題する講演では、RIの会員はクラブであり、それを率いる会長の責任は重い、会長となるためには、目標を設定できること、それを達成するノウハウを持っていることが必要だとし、



ロータリーは面白くて為になるものでなければならず、そのためには、例会における「会長の時間」をどのように組み立てるかが鍵を握ると述べた。会長に望むこととして、クラブ内戦略計画委員会の設置、寛容の精神を持って行動すること、卓話、研修会の充実、会員増強など、会長が先頭に立って取り組んでほしいと依頼した。正味2時間と大変短い時間で行われたこともあり、多くのカリキュラムが実施できなかったが、会長エレクトにとっては、学びが多い研修だったことと思う。熱心にメモを取りながら受講している参加者の姿に、次年度2570地区の発展を予感させるセミナーとなった。

ちなみに4月8日現在でPETS開催から18日が経過したが、両研修セミナー参加者から感染者は一名も出ていないことも、合わせて報告させていただきたい。



ミャンマーの風と鼓動

RID2570 国際奉仕委員会 ミャンマー訪問








平原で立ち往生 至福の始まり

RID2570国際奉仕委員会
下妻 慶悟

深谷

2020年2月1日～6日 参加者:

委員長 梅澤 茂 
副委員長 田中 哲夫 
委員 新島 修一 
委員 田島 博夫 
委員 下妻 慶悟 

荒野にて

ヤンゴン出発から6時間。私達を乗せたワンボックス・カーが壊れたのは荒野の真ん中でした。ロータリーからの寄付金による校舎建設候補地の視察に行く途中のこと。目的地のチャウタヤン村までまだ車で1時間、歩くには遠すぎる。どうするのか……。そこへ、1台のトラックが通りかかりました。案内役のポボアウンさんがドライバーと話し、荷台に乗せてもらえることになりました。それぞれがよじのぼると、でこぼこ道をトラックが走りだします。冊につかまり、足を踏ん張り、顔を上げれば、平原を渡る風、乾いた陽射し、東南アジアの大地の香り。遠くにかすむのは地平線か。互いに目が合うと、自然と笑顔に。思わずあがる歓声、爽快な高揚感、成長の鼓動、日本との共鳴。ミャンマーを全身に感じた珠玉の時となりました。

チャウタヤンの学校

無事に村に着き、井戸水で行水をさせてもらいました。なにせ、電気も水道も通っていないところ。学校は小中高等学校の計11学年合同です。生徒数は200人。教室の間には壁がなく、ついたただけで仕切られているので声が入り混じってしまいます。照明もなく、窓から差し込む陽の光で本を読みます。広さが足りず、上級生は庭の木陰や、屋根だけ設けた場所で勉強します。委員からは、校舎以外にも浄水設備やトイレの整備が必要だという声があがりました。

印象に残ったこと。小学1年生が英語を勉強していたのです。ちなみに高校生になると、数学と科学の授業を英語でやるらしい。環境は日本よりはるかに劣りつつも、



朝の散歩で、チャウタヤン村の皆さんと

教育に先に行く部分がありました。授業が一区切りすると、庭で報奨の授与式を行いました。小学生、中学生、高校生から成績優秀者を5人ずつ選び、梅澤委員長が二千元ずつを贈呈。15人のうち14人が女子でした。

HIV感染の子供たち

ヤンゴンではNAC(国民民主連盟エイズセンター)を訪問しました。建物の中で、子供たちが無邪気に飛び跳ねたりして遊んでいます。HIVに感染してもエイズを発症しなければ元気なのです。投薬で30年くらい発症を抑えられると説明されました。入居者は260人。うち子供が52人。HIVと診断され家を追い出されたり、捨てられたり。中にはごみ置き場で拾われた子もいるそうです。

この施設の創設者で代表のピュ・ピュ・



NACピュ・ピュ・ティン代表に寄付金を渡す梅澤委員長

ティン氏に、梅澤委員長がロータリーからの寄付30万円を手渡しました。施設の経費は月100万円。そのすべてが寄付でまかなわれています。政府からの援助はありません。専任のスタッフはおらず、入居している大人が子供の面倒を見ます。創設時は偏見による近隣の反対を避けるため、看板を出さず小さくひっそりと始めたとのこと。

乳児期に連れられてきた子は当然ながら名前も誕生日もわかりません。施設がつけたり決めたりし、そして誕生日にはお祝いをします。そうやって生きることの道筋をつけつつ、「ここでの一番の目的は社会に出ていくための教育をすることです。」そう語るピュ・ピュ・ティン氏の目には強い光が宿っていました。



やっと着いた!井戸水で行水



エイズ施設の子供たちは元気でした



天気の良い日は木陰で授業

来て見てください!
わが街それぞれ、
第5グループのまち

第5グループは、地理的には、埼玉県北東部で、熊谷市の5クラブ(熊谷、熊谷西、熊谷東、熊谷籠原、熊谷南)行田市の2クラブ(行田、行田さくら)羽生市の羽生クラブ、加須市の加須クラブと鴻巣市の吹上クラブの計10クラブで組織しています。国道125号は、熊谷・行田・羽生・加須を結ぶ東西ルート、直線で繋がっていますが、歴史、文化、産業、それぞれ特色ある地域です。



私は、ガバナー補佐として、各クラブの訪問をさせて頂き、クラブ事情とともに地域の特色も勉強させて頂きました。クラブの奉仕活動については、インターシティミーティングで紹介をさせて頂きましたので、ここでは、地域のまちの特色などを紹介させて頂きます。



第5グループガバナー補佐
新井 啓介



ラグビーワールドカップ 写真提供 野村泰豪会員(熊谷東RC)



熊谷は、昨年(2019)ラグビーワールドカップが開催されましたラグビー場がある『熊谷スポーツ文化公園』、国宝『妻沼聖天山』の歓喜院、夏祭りは『熊谷うちわ祭』です。暑いぞ熊谷で、かき氷「雪くま」を食べてみませんか。



羽生は、東北自動車道の羽生IC近くの羽生水郷公園の『さいたま水族館』、利根川の『羽生スカイスポーツ公園』、郊外型ショッピングモール『イオンモール羽生』、武州藍染めの『武州中島紺屋』は、埼玉県指定無形文化財です。

加須は、遊園地の『むさしの村』、『はなさき水上公園』、水上スポーツが楽しめる『渡良瀬遊水地』など。加須不動尊「總願寺」の節分会は賑わいます。また、うどん屋が多く、うどん屋さんめぐりもお薦めです。

吹上は、昔から行田との繋がりが一番ありましたが、鴻巣市に編入(2005)となってしまいました。元荒川のさくら並木での『さくらまつり』、荒川河川敷の『コスモス祭り』などは、賑わいがあります。



そして、我が街 **行田**は、『和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田』として、県下初の日本遺産になりました(2017)。また、行田足袋は、伝統工芸品になりました。忍城・水城公園・足袋蔵めぐりは、人気です。2570地区を挙げて世界遺産登録推進活動を行った『さきたま古墳群』は、2020年「国

指定特別史跡」となりました。さきたま古墳公園から西に約2キロ『古代蓮の里』で見る行田蓮と、50mのタワーから見る「田んぼアート」も見事です。まだまだありますが、ぜひ来てみてください。



行田足袋



足袋とくらしの博物館

国指定特別史跡の「さきたま古墳群」



それぞれの街の四季いろいろ楽しいイベント、郷土料理も味わってください。お待ちしております!!!



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 **井原 實**(さいたま新都心RC)

COVID-19の拡散防止に協力するロータリー

昨年12月初旬に中国の武漢で発生したCOVID-19の拡散防止が大きな話題になって来ました。RIは2月27日付けで、政府によって会合の自粛要請または禁止令が出ている場合、あるいは地区リーダーが妥当であるとみなす場合は、6月末まで地区大会、地区の研修協議会、行事の自粛やオンラインでの開催など、各地区で柔軟に対応することを認めると連絡をしています。

3月8日～11日の間、RI本部(エバンストン)で2020年地域リーダー研修セミナーが

予定されていて、私も参加を予定していました。2月27日には、研修担当の責任者は、「ロータリーは、エバンストン本部でのセミナーに出席される方の健康と安全を最優先しております。セミナーでは、ウイルス拡散防止のためのCDCの勧告に従い、追加の安全対策を取ります。」というコメントと共に、研修セミナーの開催を連絡して来ました。29日になると、「飛行機での旅行と大人数での会合を回避することで、ウイルス接触の可能性を減らし、皆さまと職員へのリスクを

軽減できると考えております。難しい決定ではありましたが、当方では皆さまの健康と安全を最優先しております。」として研修セミナーの中止を連絡して来ました。

拙文に目を通されている方の中にも苦渋の選択を迫られていらっしゃる方がおられると思います。勇気を持って、行事の中止や延期を決断し、ロータリーの見識を世の中の人達に示すこともロータリーの公共イメージの向上に繋がるのではないかと思う次第です。私達は世界を変える行動人です。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 **田中 久夫**(高崎RC)

会員増強の秘訣

これまで、私が全国各地でお話ししてきた「会員増強のhow-to」の講演では、いくつかの会員増強の方法をお示してきました。それを要約すれば、以下の5点です。

1 例会の工夫・・・現会員が例会を楽しく感じられなければ、新会員を誘ってくる訳がありません。また、新会員でも「ロータリーは楽しい」と感じて自分の知人を誘ってくるためには、やはり例会が充実していなければなりません。これは、すべて会長、幹事の責任です。これまでのやり方にとらわれず、自分たちの方法で例会を盛り上げてください。

過去に私の行った現会員向けのアンケートでは、これまで新会員をクラブに紹介したことがある会員の比率はなんと約40%という低水準であることが判明しております。反対に6割の会員は会員増強に無関心か、誘うべき友人を持たないかのいずれかです。現会員全員に新会員の勧誘を依頼しても空振りは必至です。友人・知人の多そうな明るくて元気な若手会員に絞って、真剣にクラブの将来を話し合うことが必要です。

2 若手を中心とした毎月開催の「会員増強会議」・・・これは、若手中心という点と毎月会議を開催するという点がポイントです。ロータリーの新会員ターゲット層は若手が握っています。彼らに自由に増強を任

せましょう。また、毎月開催することによって、その重要性が強調されます。若手会員に対し、「会長は増強を本気で考えている。」というメッセージを発信し、若手会員に増強を意識させることが大切です。

3 勧誘のツール・・・私は3つの資料を会員の皆さんに携行していただきました。①クラブの略歴書(A4版1枚に要約)、②入会申込書、③「ロータリーとは?」の解説文書(雑誌『ロータリーの友』の左から6ページの部分)の3点です。これらを常に携行し、入会の可能性のある方に遭遇したら、即、入会を説得する資料として有効でした。

4 メークアップの奨励・・・会員に他のクラブを知る重要性を説きましょう。私はメークをする際、メークをしたことのない若手会員にも声を掛け、「メーク・ツアー」と称して自地区内はもとより、国内の他地区や海外へのクラブにもメークに出かけました。これまで、台湾やサイパンのクラブなどにも行きました。この経験は、若手がクラブの異同を知り、本気で自クラブの運営を考える好機になるものと確信しています。

5 「ロータリー説明会(夕食会)」の開催・・・新会員候補者を一同に集め、会員達と一緒に夕食を囲みながらロータリーの説明をする会を実施しました。この場合の

要諦は、説明をする人の人選です。ロータリー経験豊富な人、反対に入会間もない人、いろいろな人が想定されますが、共通して大切なのが、ロータリーが心底好きな人、ロータリーを楽しんでいる人に話をさせることです。孔子が『論語』にて言うには(「知好楽」のススメ)、『子曰く、これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを樂しむ者に如かず』(訳:「これを知っているだけの者は、これを愛好する者におよばない。これを愛好する者は、これを真に楽しむ者にはおよばない」)です。

最後に、新会員勧誘の際に絶対言ってはいけない一言をお教えます。それは、「自分はいま〇〇クラブの会員増強担当なんだ。うちのクラブは会員が少なくて困っている。貴方が入ってくれば増強〇人が達成できるんだ。なんとか協力してくれないか?」です。これではダメです。自分の保身のために入ってくれ、という論法ではその人は説得できません。やはり、その人にとっていかに有益なクラブ・ライフであるかを説かなければならないのです。例えば、「貴方のこれからの人生においてロータリーは大いに価値があるものです。」と。あとは、自身が体験したロータリー・モーメントを具体例をもって話すこと。最近では、コトよりもモノが大切である、といいますが、体験談をストーリー仕立てで話す、ということが人の心を打つためには有効なようです。

新入 会員

氏名
勤務先
役職
入会日
紹介者



川越 中央
吉敷 賢一郎
(有)千寿商事
取締役
2020年2月17日
澤田 修



岡部
清水 幸臣
(株)清水組
専務取締役
2020年2月19日
内田 勝一



川越
小林 勇次郎
並木造園(株)
代表取締役
2020年2月25日
蓼沼 光夫 坂口 孝



川越
内田 康将
埼玉りそな銀行 川越支店
支店長
2020年2月25日
大久保敏三 小谷野和博



秩父
日野 嘉之
丸三証券(株)秩父支店
支店長
2020年2月25日
関根 昭文



狭山中央
佐々谷 悦子
(有)エクレール・ひばり
代表取締役
2020年2月25日
菊田 邦彦



鶴ヶ島
菊田 真忠
(株)菊田商事
代表取締役
2020年3月4日
西澤 克己

訃報

謹んで哀悼の意を表し、心から
ご冥福をお祈り申し上げます。

藤井 久明様



ご逝去日
2020年3月8日
(享年72歳)

ロータリー歴
1991年12月3日入会
(在籍28年)

内田 昌治様



ご逝去日
2019年12月30日
(享年79歳)

ロータリー歴
1983年11月16日入会
(在籍36年)

表彰



表彰記号の凡例は
9月号の裏表紙を
ご覧ください。

MPHF



入間南
土屋 武義

MPHF



入間南
山崎 眞二

MPHF



入間南
土田 義人

MPHF



入間南
小林 昌幸

MPHF



入間南
大河内 隆徹

PHF



入間南
清水 洋行

PHF



入間南
長谷川 渉

PHF



入間南
齋藤 良徳

PHF



熊谷龍原
中村 広喜

MPHF



東松山むさし
高橋 昇

MPHF



東松山むさし
小澤 政治

MPHF



東松山むさし
盛島 美智子

PHF



東松山むさし
小藤 恵美子

米山 3
回目



熊谷龍原
國分 忠志

米山 5
回目



志木
原 孝一

米山 4
回目



志木
尾崎 征男

米山 1
回目



志木
西川 和人

会員数・出席率 (2020年3月)

クラブ名	例 会 数	出席率 (%)		会員数 (人)									
		当 月	通 算	年 初 (7/3)	3 月 末 現 在	3 月 入 会 数	3 月 退 会 者	本 年 度 入 会 数	本 年 度 退 会 者	3 月 度 純 増 数	本 年 度 純 増 数	女 性 会 員	
川越	1	72.04	76.10	94	95	0	1	7	6	-1	1	2	
東松山	1	60.87	59.53	25	24	0	0	0	1	0	-1	1	
小川	3	76.18	80.15	9	8	0	0	0	1	0	-1	2	
坂戸	1	100.00	78.32	31	31	0	0	0	0	0	0	1	
越生毛呂	1	41.20	57.74	17	17	0	0	0	0	0	0	1	
川越小江戸	2	83.97	76.72	15	14	0	0	0	1	0	-1	0	
川越西	1	57.89	75.69	17	19	0	0	2	0	0	2	1	
鶴ヶ島	0	0.00	93.53	29	29	1	1	2	2	0	0	3	
川越中央	2	66.07	71.76	28	29	0	0	3	2	0	1	0	
坂戸さつき	0	0.00	71.35	20	20	0	0	1	1	0	0	4	
東松山むさし	0	0.00	85.95	43	44	0	0	1	0	0	1	6	
小計	12	69.78	74.75	328	330	1	2	16	14	-1	2	21	

朝霞	1	100.00	97.99	28	27	0	0	0	1	0	-1	0
志木	0	0.00	94.62	47	46	0	0	1	2	0	-1	2
富士見	1	72.09	79.42	45	42	0	0	0	3	0	-3	0
新座	2	90.91	82.44	29	28	0	0	0	1	0	-1	2
和光	1	100.00	84.26	6	5	0	0	0	1	0	-1	2
朝霞キャロット	3	87.88	84.11	12	11	0	0	0	1	0	-1	0
新座こぶし	2	87.50	87.98	8	8	0	0	0	0	0	0	2
小計	10	89.73	87.18	175	167	0	0	1	9	0	-8	8

入間	0	0.00	74.33	42	39	0	1	0	3	-1	-3	2
所沢	0	0.00	73.57	58	58	0	1	2	2	-1	0	3
飯能	3	89.77	89.44	60	58	0	1	2	4	-1	-2	0
新所沢	0	0.00	85.95	20	23	0	0	3	0	0	3	2
日高	3	85.41	64.43	19	19	0	0	0	0	0	0	3
所沢西	0	0.00	86.95	30	31	0	0	1	0	0	1	3
新狭山	1	81.25	73.14	15	16	0	0	2	1	0	1	0
所沢東	0	0.00	87.44	44	45	0	0	2	1	0	1	2
入間南	0	0.00	83.73	43	43	0	0	0	0	0	0	0
所沢中央	1	81.80	87.60	24	23	0	0	1	0	-1	-2	0
狭山中央	1	62.50	81.20	30	27	0	1	1	4	-1	-3	6
小計	9	80.15	80.59	385	382	0	4	13	16	-4	-3	23

深谷	0	0.00	68.12	57	59	1	0	2	0	1	2	11
本庄	0	0.00	69.29	78	78	0	0	1	1	0	0	5
秩父	1	66.00	77.42	50	50	0	1	3	3	-1	0	1
寄居	1	100.00	88.62	23	28	1	0	5	0	1	5	0
児玉	0	0.00	100.00	3	3	0	0	0	0	0	0	0
岡部	2	100.00	94.17	15	15	0	0	1	1	0	0	1
深谷東	0	0.00	65.62	67	68	0	0	3	2	0	1	0
川本	1	100.00	82.78	8	7	0	0	0	1	0	-1	0
皆野・長瀨	3	75.70	77.41	11	11	0	0	0	0	0	0	0
本庄南	1	81.25	78.24	15	16	1	0	2	1	1	1	2
深谷ノース	2	100.00	83.10	32	30	0	0	0	2	0	-2	1
小計	11	88.99	80.97	359	365	3	1	17	11	2	6	21

熊谷	0	0.00	72.89	89	91	0	1	5	3	-1	2	3
行田	1	48.00	50.04	64	63	0	0	1	2	0	-1	5
羽生	0	0.00	69.01	48	48	0	0	0	0	0	0	4
加須	2	62.50	79.91	26	25	0	0	0	1	0	-1	1
熊谷西	2	84.00	74.33	9	9	0	1	2	2	-1	0	0
行田さくら	1	51.10	63.83	50	52	0	0	3	1	0	2	2
熊谷東	1	74.10	68.68	28	27	0	0	0	1	0	-1	2
吹上	1	100.00	83.64	7	8	0	0	2	1	0	1	2
熊谷籠原	0	0.00	81.20	28	29	0	0	2	1	0	1	0
熊谷南	2	45.85	50.80	22	23	0	1	2	1	-1	1	3
小計	10	66.51	69.17	371	375	0	3	17	13	-3	4	22

50RC	男性会員数	78.36	75.06	1525	1523	4	10	59	61	-6	-2
	女性会員数			92	95	0	0	5	2	0	3
	合計			1617	1618	4	10	64	63	-6	1

スケジュール (2020年5-6月)

5月	8 (金) ロータリー財団委員会 / 第1次選考試験 (申請書類審査)	
11 (金) ロータリー財団委員会 / 第1次合格通知発表		
15 (金) ロータリー財団委員会 / 知事表敬訪問 (2020~21年度派遣R財団奨学生) 中止		
16 (土) ロータリー財団委員会 / 第2次選考試験 (語学試験・ロータリーの知識・面接) 選考会議		
18 (月) ロータリー財団委員会 / 第2次合格通知発表		
23 (土) R米山記念奨学委員会 / ロータリーの森清掃活動 中止		
24 (日) 青少年奉仕委員会 / 閉講式 (第10回オリエンテーション) 中止		
31 (日) 2019~20年度地区補助金報告書提出締切 2020~21年度地区補助金申請書提出締切 クラブ覚書 (MOU) 提出締切		
6月	6~10 (土~水) ロータリー国際大会 中止	
7 (日) R米山記念奨学委員会 / 学友総会		
11 (木) 青少年奉仕委員会 / 閉講式 (第10回オリエンテーション)		
20 (土) ロータリー財団委員会 / 合格者アプリケーションガイダンス 第5回オリエンテーション・歓送迎会 (2020~21年度派遣R財団奨学生) (2021~22年度派遣R財団奨学候補生)		
未定 青少年奉仕委員会 / 埼玉県知事公式訪問		

4月7日の新型コロナウイルス感染防止に向けた7都府県緊急事態宣言発令下、地区事務所の勤務について (4月12日より実施)

月曜日・金曜日=地区事務所勤務 (従来通り)
火・水・木曜日=在宅勤務10:00~電話メール対応 (FAX郵便物不可)
の対応を取っております。即応の出来ないこともありますが、ご容赦
お願いいたします。各クラブの皆様も例会や行事の消化が出来ず不
完全燃焼状態ではありませんか? ここで発想を変え、その予算を
新型コロナウイルス対策に活用されたら如何でしょうか。
それを広報する事により、ロータリークラブの認知度の向上、公共イ
メージアップになると思っております。 地区幹事 藤倉 武

ガバナー月信編集委員会からのお詫びと訂正

ガバナー月信4月号 (No.10) 15ページ、訃報の橋本啓一様の所属ク
ラブ名、並びに財団表彰の田中由晃様の所属クラブ名に誤りがありま
した。
正しくは「橋本啓一様 (朝霞RC)」、「田中由晃様 (所沢RC)」でした
ので謹んでお詫び申し上げます。

ガバナー月信 第11号 2020年5月1日発行

今月の表紙:
宮本 伸子 ガバナー月信編集委員会委員 (左) 
高橋 貴子 青少年奉仕委員会 青少年交換小委員会委員 (右) 

2019-2020年度ガバナー 鈴木 秀憲

国際ロータリー第2570地区 地区事務所
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
ガーデンホテル紫雲閣内

TEL (0493) 21-2570 FAX (0493) 21-2571
E-mail = d-office@mail.rid2570.gr.jp
Website = https://www.rid2570.gr.jp

月信原稿送信先 = info2019@rid2570.gr.jp